

公表日 2026年1月20日

事業所名 こばんはうすさくら 池辺教室

保護者等数(児童数) 40名 回収数 36件(割合〇%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36				特にありません。	基準は守られていると思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	34	1			1送迎時など配置が大変なのだろうと思っています。	標準の人数配置で作られていると思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	35	1			活動する場所、勉強する場所がしっかりと分かれています。視覚的にも分かりやすく書かれたボードが利用されている。	教室内の破損等も出てきており、徐々に整備しているのですが、子どもが破壊してしまう、汚すなどについて、指導の強化をしないといけないと感じています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34	2			清潔を心がけるようにしていますが、心地よい環境で過ごせるよう今後も気を付けて参ります。	整理整頓は心掛けていますが、子ども一人一人が整理整頓が得意ではない為、補佐は必要です。清掃は徹底しています。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	1			精神的に崩れてしまった時、相談すると適切に対応して頂き、その状態が長く続いてしまうということがないので有難い	専門性を高められるよう、日々努力を今後もしていきます。職員スキルもあげていきたい。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35				1合っていると思う。	公表した支援プログラムに沿って、支援提供を行っています。
	7	子どものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	36				いつも我が子のことをよく理解して下さっているなどを感じます。真剣に相談にのって頂き感謝しています。	今後も保護者様と相談を重ねながら計画作りを実施して参りたいと思います。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35				今まで、具体的に支援を作成してもらっています。 説明を受けても、難しいですが、内容設定はされているのは理解出来ている。	今後も意識して取り組めるよう努力して参ります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36				行われていると思います。	放課後等デイサービスの内容を意識し、支援提供できるよう意識しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36				家では出来ないようなプログラムもあり、楽しそうだと思います。	長期休暇プログラムや高学年向けのニーズ別プログラムも実施しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	32	3	1		個人的に参加出来ていないが、事業所の活動はある。	コミハウにて、障がい、健常を問わない人との関わりを行っています。地域の祭りなどもあります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36				最初の説明の際、丁寧に教えて頂きました。契約時にも説明を受けています。	負担額が変わる際、お手紙と変更用紙を頂いております。契約時はしっかりと説明しています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36				してもらっています。	必ず、計画書と一緒に確認してもらっています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	36				ペアトレ、保護者会など1年を通じて開催されている。BBQや夏祭り、今年はお父さんイベントも開催されました。	保護者会、勉強会、外部説明会、研修会など積極的に取り入れ、保護者様同士の繋がりのきっかけは作っています。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	35	1			ちょっとしたことでお電話やリトムで伝えて下さり、安心出来ています。	小さな事も有難いご意見だと思います 保護者様には嘘偽りなくお付き合いしたいと思っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36				忙しい中、子どもの様子で相談すると親身に聞いて下さるので助かっています。	ご家庭内での課題などは、打ち明けて頂かないといけないことが多いですが、寄り添っていきたい思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36				寄り添って頂いています。 とても可愛がっていると感じ、安心して送り出せます。	今後も職員と理解を高めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	36				保護者会やBBQイベントなど、親やごきょうだいを含めたイベントが毎年ある。夏祭りはきょうだいも参加でき、楽しんでいました。	保護者会だけではなく、コミュニケーションが広がるような行事イベントの開催は今後も実施していきたいです。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	36				毎回のリトムのやりとりでも、ちょっとした相談に丁寧に答えて下さっていると思います。相談ごとに快く受け入れて話を聞いてくれます。つい、長話となってしまいま	保護者様だけではなく、お子さまも気軽に相談してくれるような環境と関係性を心掛けていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36				こまめに連絡を下さります。 面談や日々のやり取りで、様々な事に配慮してもらっていると感じている	ご連絡下さる方や発信される方には、様々な情報を得ることが出来ます。教室では情報伝達をしっかり行っています。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	36			さくら新聞、写真つきで見やすく、楽しみにしています。ブログもあがっています。自己評価の結果を確認することが出来ます。	月1回の新聞と行事報告として、該当者に報告書をあげています。外出や就学前SSTではフィードバックを作成し、保護者様に配布しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35			適切だと思います。 1 子ども、保護者が特定されないよう配慮がある。	今後も十分な配慮を実施していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35		1	相談室の壁などにも掲示されているものもあり、いつでも見ることが出来ます。	マニュアルは、しっかり用意しております。契約時に説明をいれております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	34		2	定期的に実施してくれている。	予定や実施したら報告なども行っています。避難訓練なども定期訓練としています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	36			安全に支援を行っていると思います。	安全は第一と考えております。今後も努力していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	35		1	報告は実際にありました。その後の改善案などもお知らせ下さり、とても丁寧でした。	怪我などがあった場合、しかるべき対応と処置を迅速に行っております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	35	1		安心していると思います。 苦手な子がいる日があるようですが、事業所として見守って下さっています。	安心して通所してもらえるように努力します。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	32	4		好きな集団やイベントに「早くこの日にならないかな」と言っています。	高学年は、自分の時間を作りたい子も増えますので、余暇も充実出来る過ごし方を提供していきたいです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	36			とても丁寧にご指導して下さり、感謝しております。 親子共々寄り添ってもらい感謝してる。	ありがとうございます。 今後も頑張ります。

公表日

2026年1月20日

事業所名

こばんはうすさくら 池辺教室

チェック項目							はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	子どもが運動できるスペースが確保されている。基準はクリアしている、工夫次第。					児発と放デイの部屋がわかつており、人数過多とならないようとしている。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	配置人数などは適切である。配慮が必要な曜日は手厚い体制にしている。担当者が明確にされている。					必ずいないとならない職員数はいるようにしています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	工程表や障がいに対した提示物がわかりやすく表示されている。					段差、階段には気を付ける様、過剰にならない程度に声かけを実施しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	定期的に大掃除を実施。物を増やさない努力を行っている。換気や消毒など感染対策を行っている。					時々整理し片付けを促している。掃除が行き届いてないと感じた人から率先して掃除を行えばいい。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	個別を実施する部屋が用意されているので、場合によっては使用可能としている。					個別部屋に放デイの荷物を置いていることもあり、収納場所の確保は出来ないので、不必要なものを整理することが必要
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	目標設定は明確にしている。イベント前後の打ち合わせ、振り返りが出来ている。					責任ある持ち仕事を常勤者にもってもらいたい、自分でどうしたら業務がこなせるのかを自覚をもってもらっている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	ご意見に対して真摯に受け止めることを常に話している。保護者の意向を業務に反映されている。					保護者様からご意見があれば、すぐに話し合いの場をもち、すぐの対応を実施するよう心掛けています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	職員の意見は必ず聞くようしている。職員同士、話し合いを行っている					業務改善に繋がるという明確な理由を伝え、前向きに取り組めるようにしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	現在の所は外部評価は実施していない					実施できていません。必要となれば、実施します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	研修は実施している。保護者様と一緒に学ぶ機会もある。外部研修などにも1部の職員は参加し、質の向上を行っている					研修の機会は設けてあります。ひとりひとりが、研修で学んだことを般化してもらいたいと思います
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		実施している。公表もしている。					様々なツールから、プログラムが確認できるようにしているので、今後も配信してもらいたい。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		保護者様のニーズを確認する為にお聞き取りシートを活用している					子どもが自分の気持ちを伝えられることが出来るなら、それに応えられるようにしています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	職員としっかりと話し合い、情報の共有を行い、共通理解を行なうようにしている。子どもの変化があった時も情報共有を行っている。					職員の価値観の異なりで支援にブレが出来ないようにしてもらいたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	必ず共有している。利用者日報にも記されており、職員に共有されている。					共有していても、個人の受信の仕方で支援内容が異なってしまう。都度、自己判断する人支援を再度落とす必要がある
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	活用している。標準化されたアセスメントだけでは情報は薄いので、別紙でまとめを作成することも入れている。					必ず、実施したことへのフィードバックを児発管から伝えてもらえるようにしています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		計画書には盛り込まれている。各関係機関と連携を図り、設定されていると思う。					計画内容を落としても、職員の認識には差がでてしまう。実際にやりながら覚えていくよう促しが必要。説明をしても、聞かない人への対応がでてしまう。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	活動内容によっては、チームで行っている。職員によってはまだ立案していない人もいる。					児発や放デイの合同のプログラムなども取り入れているため、チームで作っているものは多くあります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		活動内容は、固定化しないよう担当制で受け持ちをしている。季節行事などもしっかりと取り入れの中に入れている。					職員のやりたいことも入れながら、方向性だけをかえずにプログラム作成を行っています。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	個別も集団も大事にしているので子どもに合わせて計画している。子どもの目標に合わせてもいる。					集団は2ヶ月前に作成を始めていますが、その時の子どもの様子によって、急遽内容を変更している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	朝礼は毎日実施。活動内容によっては、数日前より周知できようとする。職員日報に情報を落とすことはしている。昼礼も実施。					行うのを前提としているが、毎日やり切れないこともあります。職員によって、実施する人、しない人が出てしまう。なかなか改善出来ない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	気付いた点などがある場合、当日、または翌日に共有している。					帰宅前に実施するには、簡単な振り返りであっても、毎日残業となってしまう。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援計画についてを意識した記録の仕方を促しているが、人によっては日々の支援状況を記入されている。					なかなか計画書の内容に沿って記録の記入をするのが難しいのか。説明はしているが、なかなかやり切れていない様子。

切 な 支 援 の 提 供	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		管理者より、適切な見直しが共有されている。カンファレンスも実施している。	モニタリングだけではなく、変更しなくてはならないことがあれば、都度の話し合いを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	2	意識して作成していると思うが、地域交流の活動が難しいように感じる。	他職員が中心者となる時は、意識しきれないともあるが、誰でも意識出来るのが望ましい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	意識して提供出来ていると思う。自己決定や意思は確認しながら支援するよう心がけている。	他職員が中心者となる時は、意識しきれないともあるが、誰でも意識出来るのが望ましい。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		管理者・児発管が参加している。	他の職員にも横の繋がりを他事業所、関係機関と行ってもらいたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		各関係機関と連携を図っている。児童精神医療などにも今年は繋がった。	連携は大切に考えている。繋がりも深い関係機関もある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	未1	保護者様を介して行つてもらうこともあるが、学校と直接のやり取りを取ることも出来ている。	もう少し、コンスタントに連携を取りにいきたい。特定の学校とはかなり深く話すことが出来ている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		訪問へ行くこともあります、情報の収集は出来ている。卒園後も顔の繋がる関係でありたい。	もっと増やしていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2 未1	学校を卒業してからのプロセスは出来ているので、後は実施するのみ。特支の高等学校の教員とは繋がることが出来た。	もう少し、移行支援先について連携をとれるようにしたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	療育センターとは繋がりを持たせてもらっている。	様々な関係機関と繋がりをとりたいが、現段階は近隣区の基幹と関係を持つことがメインとなってしまった。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	地域ケアプラザやコミハウなどと繋がりを持っている。そこで合同企画などを開催し、子どもにも参加してもらった。	もっと、合同で行えるような取り組みを持っていかれるとよい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	管理者・児発管は参加している。	今後も参加は絶対にしていきたい。できれば、他職員も参加してもらいたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		管理者中心に行っている。日々のことは、職員が保護者様に事業所内であった出来事をお伝えしている。	現場の職員たちも積極的に関わりを保護者様と取っていかれるとよい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		管理者中心に行っている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	未1	管理者・児発管が中心に行っている。	改定されるようなことがあった時は、都度お便り配布し、保護者から承諾をもらっているが、知らない職員がいる。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		お聞き取りシートなどを活用しながら、実施している。	児発管が情報は落としているのが中心となっているが、担当職員が中心者となれるといい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		管理者中心に行っている。定期的に実施されている。	児発管が機能していない為、放ディの児発管が補っている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		管理者中心に行っている。職員にも情報を落してくれる。	内容をまとめ、担当職員から伝えてもらっているが、もう少し主導をもって保護者様と関わると良い。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		企画はされている。BBQ、お祭り、父の日企画などが今年行われた。	すべて、中心者が管理者となっているので正直、時間と用意で負荷がある。内容によるが、職員が中心となれるといい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		管理者・児発管中心に行っている。情報は共有してもらえる。	すべて、中心者が管理者となっているので負荷がある。職員が中心となれるといい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者にに対して発信しているか。	7		管理者が新聞、ブログを配信している。	すべて、中心者が管理者となっているので負荷がある。職員が中心となれるといい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		努力している。	自覚の薄さで、個人情報の扱いと意識が薄い職員もいる。都度伝えていくことが必要。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		難しい課題ですが、意思疎通が取れない子にも指さし、マカトンなどを教えていくなどを行っています。	気持ちを汲み取りたいという気持ちで関わりを持っていますが難しさは感じる。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	地域住民の招待を事業所内では行えていませんが、今後実施したい。親目線では、必要ないという意見もある。	地域の活動に参加することは行っているので、事業所でも行いたいが、何を行うべきか悩むところではある。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	契約時に実施しています。 訓練に関しては、マニュアル通りに実施することは少ないが、実際は行えている。	マニュアルは全てあります。 職員や保護者様によっては、周知しきれていないこともあります。 改善

非常時等の対応	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	外部で防災センターに訓練に行くなど取り入れを実施。今年は、水害についてを訓練しています。	避難訓練や外部の災害時訓練は実施しています。リトムなどで保護者様に実施報告を行って頂ければと思う。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1	契約時に確認しています。一部の子の服薬をしていることは知っている。明確な把握はしきれていない。	てんかんや、発作時の対応、服薬管理について、今一度説明をしていく必要はある。
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	医師の判断に基づくようになっていますが、明確に把握出来ていない人もいる。	アレルギーのお子さまの対応は、保護者様を通して伝達を頂いております。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	安全計画は作成されている。発生時には、原因、防止策について話し合いを行い、再発防止に務めている。	安全管理は、今後もしっかりと行っていきたい。安全についての職員の意識を同じにしたい。
	51 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	安全確保に関しては、契約時説明などでも行っているが、都度追記されなければならない説明を行っている。	細かい内容としてはしっかりと伝えられていないかと思いますが、それも行えるようになしたい。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットは現在はラインで共有されている。	ヒヤリハットの担当者を変更した。細かいこれまで情報が上がるようにはなったが、事例集などは作成していません。
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修などはしっかりと実施している。管理者と児発管は外部の横浜市研修に参加している。	虐待に繋がる言動をする職員への対応に頭使うことが多いある。
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	身体拘束については、知っている職員もいますが、細かい内容を確認できるものがないと感じる。	詳しく保護者様へ伝えきれていないこともあるので、今後実施していきたい。